

NEWS 港湾ニュース

■ 空の日イベントの開催について

北海道開発局 港湾空港部 空港課

今年も空の日イベントが道内の各空港(国管理空港、地方管理空港、特定地方管理空港、共用空港)において開催されました。その内、国管理空港及び共用空港においては、平成28年7月31日(日)の稚内空港を皮切りに、9月3日(土)函館空港、9月10日(土)新千歳空港、9月11日(日)札幌飛行場、9月25日(日)釧路空港と開催されました。

そもそも空の日とは一体何の日なのでしょうか。空の日とは、毎年9月20日から9月30日を「空の旬間」、9月20日を「空の日」と定め、広く国民の方々に空への関心と理解を高め、航空の発展に寄与することを目的として、国土交通省で定めたもので、この時期に全国の空港で各種行事を実施しています。



稚内空港でのウォーターアーチ



函館空港での野外ステージ

主な内容としましては、普段は入ることができない滑走路や誘導路を歩く体験や、航空機及び空港内で活躍する地上支援車両、消防車等の展示、各空港の歴史を纏めたパネル展示等が開催されます。また、ある空港では、航空会社の子供用制服試着会、フライトシミュレーター体験、野外ステージ、紙飛行機作り体験、空港内のバスツアー、チアリーディングなど、多種多様な催しが開催されました。会場については、エプロン(駐機場)の一部を特設会場とするなど、普段は立入禁止の場所で開催されることが多いです。



新千歳空港でのチアリーディングショー

空の日に関するイベントは、毎年各空港にて催されております。各空港でそれぞれ趣向を凝らした内容になっておりますし、空港の歴史や役割等を知っていただく良い機会と考えております。この度も御多忙の中、イベントに御協力いただいた皆様、改めまして感謝申し上げます。



釧路空港での航空機展示